

流域治水の今後の取組について

令和 8 年 6 月 11 日（木）

令和 8 年度 天竜川上流流域治水協議会

長野県河川課

1

長野県流域治水推進計画の取組

2

契機

- 近年、気候変動による豪雨が増加し、全国各地で水害が激甚化・頻発化
- これまでの国や県による治水対策に加え、市町村や民間事業者、県民などの流域の関係者全員が協働して、流域全体で対策を推進する必要がある

趣旨

- 令和元年東日本台風より甚大な被害が発生した長野県において、流域治水の取組を推進
- 全国的に流域治水への転換が図られている中、県の独自計画「長野県流域治水推進計画」を策定
- 関係者が意識を共有し、計画期間内での具体的な取組目標を定め、計画的に取り組む必要がある

目標

- 「流域治水」に対する意識を醸成し、取組が拡大することを目的に策定
- 取組を推進することにより、「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の軽減」を実現し、「安全・安心な地域」の形成を目指す

計画期間

令和3～7年度（5か年）



国土交通省資料より
流域治水のイメージ

流域治水

河川整備の取組「流す」

流域における雨水貯留等の取組「留める」

まちづくりや住民避難の取組「備える」～逃げ遅れゼロ～

●堤防・護岸整備 ●河道掘削・支障木伐採 等

●公共施設における雨水貯留浸透施設設置

●市町村における各戸貯留施設設置費補助制度

●雨水排水規制ガイドライン等の策定

●ため池や水田を活用した雨水貯留の取組

●流域の森林整備 等

●危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの設置

●浸水想定区域図の作成 ●住まい方の工夫の取組

●要配慮者利用施設における避難確保計画の策定

●地域特性に配慮した「地区防災マップ」の作成

●防災知識の普及に関する取組 等

長野県流域治水推進計画

「流域治水」の3本柱のうち、本計画では「留める」「備える」の2本柱に絞った計画

主な流域治水の普及啓発活動

治水ONE NAGANO宣言（R3.5）

- 県と市町村が協力して「流域治水」を前に進めていく決意表明として「治水ONE NAGANO宣言」を実施

※役職名は宣言当時のもの

千曲川流域治水サミット（R5.1）

- 流域治水を本格的に展開するため、新潟県・長野県の首長等が一堂に会し、上下流一体で課題や取組を共有

記念撮影（県内の千曲川流域首長と新潟県三条市）

CM放送

- CM動画を作成し、テレビCMやYouTube・LINEなどの広告、映画館の上映前の広告等、様々な媒体での広報を実施

SBC NBS YAHOO! 広告 TSB abn SUNRISE FamilyMart 綿半 JR YouTube LINE

グッズ展開

シンポジウム

- 信濃川・天竜川水系にスポットをあてたシンポジウムや、土木学会水工学委員会や国・県・市等で構成された水シンポジウム等、流域治水の方向性や一人ひとりができることを議論

令和元年東日本台風災害2年シンポジウム（R3.10）
主催：千曲川河川事務所、長野県

天竜川水系流域治水シンポジウム（R4.12）
主催：天竜川上流河川事務所、長野県

水シンポジウム（R6.10,11）
主催：「第28回水シンポジウム2024 in ながの」実行委員会（国交省北陸地整、長野県、長野市他）

啓発動画・流域治水模型による防災教育

- 流域治水の取組を紹介している啓発動画作成や模型の製作し、防災学習を実施

啓発動画

防災学習カード

防災学習

流域治水模型

- グッズを作成し、啓発目的としてイベント等で配布
- ・ポスター ・パンフレット
- ・ステッカー ・クリアファイル、
- ・缶バッジ等

4

みんなでとりくむ「流域治水」

治水ONE NAGANO

長野県RRキャラクター「アルクマ」©長野県アルクマ

5

みんなでとりくむ「流域治水」

治水ONE NAGANO

長野県RRキャラクター「アルクマ」©長野県アルクマ

6



VOICEVOX:四国めたん

長野県流域治水推進計画とりまとめ

【長野県流域治水推進計画の成果】

「留める」取組み

- 河川への流入量抑制及び市街地の浸水低減に繋がった
- 県有施設および市町村施設における雨水貯留浸透施設の設置が進み、貯留量を確保したほか、設置を通して取組みの周知をすることができた。
- ため池を活用した雨水貯留や森林整備、公共下水道の整備など、部局を横断した取組みが実施された。

「備える」取組み

- 備える取組みを推進したことで、防災意識の向上やリアルタイム情報発信に寄与
- 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置を増加したことで、県民にリアルタイムで情報発信でき、安全な場所から確認できるようになった。
- 県立高校における避難確保計画の作成が進み、計画に基づいた避難訓練を実施したことで防災意識向上が図られた。
- 要配慮者利用施設における避難確保計画作成や地区防災マップ、住民支えあいマップの作成が進み、個人だけでなく団体での防災意識向上に寄与した。

➡ 各項目における取組が広がり、流域治水に対する意識の醸成が図られた

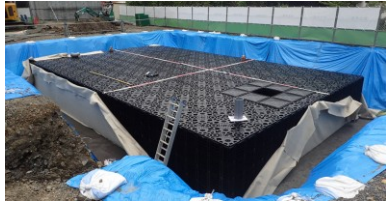
流域における雨水貯留等の取組「留める」

項目	目標値	実績	
県有施設における雨水貯留浸透施設設置	20施設	19施設	95%
県有施設における雨水貯留タンク設置	439基	439基	100%
市町村の所有する施設での雨水貯留浸透施設設置	77市町村	46市町村	60%
市町村における各戸貯留施設設置費補助制度	12市町村	11市町村	92%
雨水排水規制ガイドライン等の策定	54市町村	11市町村	20%
ため池を活用した雨水貯留の取組	404箇所	437箇所	108%
公共下水道（雨水）の整備	335ha	141ha	42%
流域の森林整備	35,531ha	32,850ha	92%

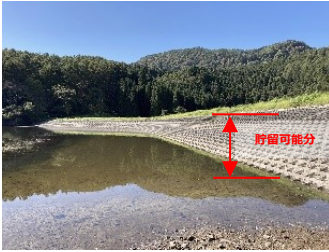
まちづくりや住民避難の取組「備える」～逃げ遅れゼロ～

項目	目標値	実績	
簡易型河川監視カメラの設置	100基	100基	100%
浸水想定区域図の作成	218河川	218河川	100%
都市計画マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域への誘導	6市町村	10市町村	167%
要配慮者利用施設における避難確保計画の作成施設数	51%	96.3%	96%
学校における避難確保計画の作成と避難訓練の実施	5校	3校	60%
地域特性に配慮した「地区防災マップ」の作成	77市町村	77市町村	100%
防災知識の普及に関する取組 信州防災アプリ登録者数	100,000名	48,189名	48%
「住民支えあいマップ」の作成	3,539地区	3,400地区	96%

※取組項目は抜粋、記載実績値は見込み値を含む



県有施設における雨水貯留浸透施設
木曽警察署（地下貯留方式）



ため池を活用した雨水貯留の取組
（大池（千曲市）低水管理状況）



公共下水道（雨水）の整備
（長野市 更北南部 1号雨水幹線）



流域の森林整備（天竜村）



地区防災マップの作成（千曲市）



信州防災アプリ

流域治水の今後の取組について

9

長野県における流域治水の取組の推進・深化



治水 ONE NAGANO
～みんなでとりくむ『流域治水』～

長野県河川課

【これまでの取組】

長野県流域治水推進計画（令和3年2月策定）

流域における雨水貯留等の取組
「留める」

まちづくりや住民避難の取組
「備える」～逃げ遅れゼロ～

- 期間：令和3～7年度（5カ年）
- 内容：計画期間内で実施する取組目標を定め「流域治水」を推進



長野県流域治水推進計画による普及啓発により「流域治水」という意識の醸成は図られつつあるが、更なる取組みが必要



「水害リスク」を『自分事』と捉え、流域対策を『行動』に移行
県民も参加できるように推進し、より知ってもらう

【今後の展開（案）】

【令和3～7年度】

ステップ①

知る

- 【水 系】流域治水プロジェクト R3～
- 【県全域】長野県流域治水推進計画 R3～R7



【令和8年度～】

ステップ②

自分事化、行動

県内10圏域（スモールスケール）

流域治水プロジェクト2.0の具体化・細分化
（地域毎の具体的な取組方針による推進）

これまでにCM等により『流域治水』の言葉や概念の浸透をはかった

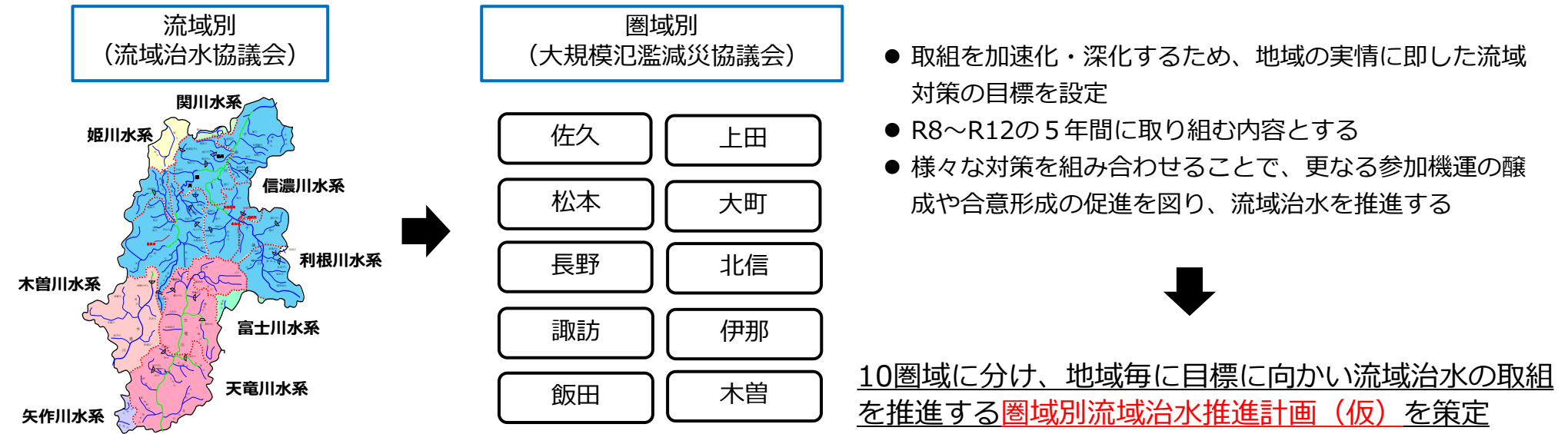
県民ひとりひとりが自分事化し、行動できるように市町村・国・県が協働

【今後の取組（案）】

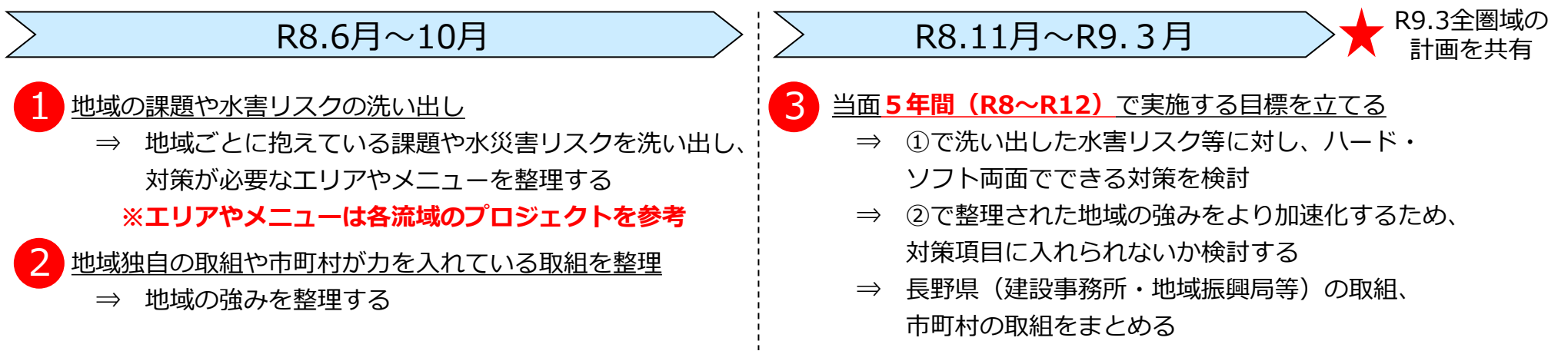
- 県内10圏域に分け、流域内の関係者と治水上の課題や今後のまちづくりの在り方等について議論
- 地域の実情に即した流域対策の目標を設定し、様々な流域対策を組み合わせることによる効果の「見える化」を行う
- **県民ひとりひとりが自分事化し行動できる取組を推進する**
- 各小流域の取組み状況等については、流域治水全体協議会等で協議・情報共有を行う

10

【圏域別流域治水推進計画（仮）の作成】



【スケジュール（予定）】



11

【圏域別流域治水推進計画（仮）のイメージ】

●●圏域版流域治水推進計画

〇〇建設事務所

1 圏域の概要

〇〇圏域は、〇〇市、△△町、□□村の1市1町1村で構成され、・・・

また、〇〇からの土砂供給が・・・

2 地域の課題や水害リスク

地区名等	課題や水害リスク
●●市〇〇地区	河川の土砂が堆積しやすく流下能力の低下や、水位上昇時の溢水の危険性が高い
〇〇町△△地区	H〇年の出水において避難指示を出し、〇〇まで避難を実施した世帯がある
□□村	想定氾濫区域内に指定避難所が多数存在しており、河川氾濫のおそれにより避難所が十分に機能しない可能性がある

3 地域独自の取組や市町村が力を入れている取組

地区名等	取組内容
●●市〇〇地区	ため池を活用した雨水貯留を行っており、降雨が予測される前に池の水位を下げる運用を地区内の〇箇所を実施
〇〇町△△地区	住民支えあいマップを作成し、災害時の行動を地区で共有している。また避難訓練を年に1回実施している。
□□村	雨水貯留タンクを村の施設に設置しており、補助により各家庭への普及を推進している

12

【圏域別流域治水推進計画（仮）のイメージ】

●●圏域流域治水推進計画メニュー（R8～R12）

令和●年●月

項 目		現状	目標 (5か年)	単位	R8予定		R9予定		R10予定数		R11予定数		R12予定数		担当部署
					実施数	進捗率(%)	実施数	進捗率(%)	実施数	進捗率(%)	実施数	進捗率(%)	実施数	進捗率(%)	
流す	① 河川改修（●●川○○地区）	—	200	m	40 40	20.0	(40) 80	40.0	(40) 120	60.0	(40) 160	80.0	(40) 200	100.0	●●建設 事務所
	② ポンプ場・排水機場の整備（●●市○○地区）	—	3	箇所	0 0	0.0	(1) 1	33.3	() 1	33.3	() 1	33.3	(2) 3	100.0	●●市
	③ 公共下水道の整備（●●市○○地区）	34.7	35.2	%	34.7 34.7	0.0	(34.8) 34.8	20.0	(34.9) 34.9	40.0	(35.0) 35.0	60.0	(35.2) 35.2	100.0	●●市
	④ 水門の電動化・自動化・遠隔化（●●市○○地区）	—	2	箇所	2 2	100.0	() 2	100.0	() 2	100.0	() 2	100.0	() 2	100.0	●●市
	⑤ 雨水排水施設の整備（改修）（●●町○○地区）	—	7	箇所	2 2	28.6	(2) 4	57.1	(1) 5	71.4	(1) 6	85.7	(1) 7	100.0	●●町
留める	① 流域の森林整備（民有林の間伐面積）（●●市）	337	1,480	ha	350 350	23.6	(320) 670	45.3	(300) 970	65.5	(270) 1,240	83.8	(240) 1,480	100.0	●●地域振 興局●●課
	② ため池を活用した雨水貯留の取組（●●市）	58	58	箇所	58 58	100.0	() 58	100.0	() 58	100.0	() 58	100.0	() 58	100.0	●●地域振 興局●●課
	③ 開発行為に伴う雨水流出抑制指導（●●市）	—	150	件	30 30	20.0	(30) 60	40.0	(30) 90	60.0	(30) 120	80.0	(30) 150	100.0	●●市
	④ 雨水貯留浸透施設設置助成制度（●●市）	—	340	基	68 68	20.0	(68) 136	40.0	(68) 204	60.0	(68) 272	80.0	(68) 340	100.0	●●市
	⑤ ため池を活用した雨水貯留の取組（●●町）	3	13	箇所	5 5	38.5	(3) 8	61.5	(3) 11	84.6	(1) 12	92.3	(1) 13	100.0	●●町
	⑥ 公園、学校敷地、道路における雨水貯留施設等の設置 （●●村）	—	4	箇所	0 0	0.0	(1) 1	25.0	() 1	25.0	(1) 2	50.0	(2) 4	100.0	●●村
備える	① 内水ハザードマップの作成（●●市○○地区）	1	20	排水区	0 1	5.0	(4) 5	25.0	(5) 10	50.0	(5) 15	75.0	(5) 20	100.0	●●市
	② 小学生等を対象とした水生生物観察等の環境学習会の実施 （●●市）	—	1	回	1 1	100.0	() 1	100.0	() 1	100.0	() 1	100.0	() 1	100.0	●●市
	③ 水防技術講習会の実施（●●市）	—	5	回	1 1	20.0	(1) 2	40.0	(1) 3	60.0	(1) 4	80.0	(1) 5	100.0	●●市
	④ ハザードマップの掲示及び防災関連パンフレット等の設置 （●●町）	—	1	箇所	1 1	100.0	() 1	100.0	() 1	100.0	() 1	100.0	() 1	100.0	●●町
	⑤ パネル展、イベント、水害リスク情報の周知やSNS等を活用 した情報発信（●●市）	—	50	回	10 10	20.0	(10) 20	40.0	(10) 30	60.0	(10) 40	80.0	(10) 50	100.0	●●市
	⑥ 出前講座によるハザードマップを活用した防災教育の実施 （●●市）	—	100	回	20 20	20.0	(20) 40	40.0	(20) 60	60.0	(20) 80	80.0	(20) 100	100.0	●●市
	⑦ マンホールトイレ設置（●●町）	2	3	箇所	1 1	33.3	(1) 2	66.7	(1) 3	100.0	() 3	100.0	() 3	100.0	●●町
	⑧ 住民参加型の総合防災訓練の実施（●●村）	3	5	回	1 1	20.0	(1) 2	40.0	(1) 3	60.0	(1) 4	80.0	(1) 5	100.0	●●村

13

圏域版流域治水推進計画（仮）作成後の進め方

- 計画作成後は、各流域治水協議会や大規模氾濫減災協議会等を活用し、関係者と議論を重ねる
- また、必要に応じて、計画の見直しや項目の追加を行う

Plan【計画・目標】

- 水災害リスクを把握し、課題や取組状況を反映した圏域別流域治水推進計画（仮）を作成
- 市町村や関係者と意見交換や議論を行い目標を共有する

水災害リスクの把握

- ・過去の災害履歴
- ・降雨状況
- ・河川整備状況
- ・土地利用状況
- ・浸水想定区域図
- ・水害リスクマップ・避難計画など
- ・用排水路整備状況
- ・下水道整備状況（雨水渠）
- ・内水ハザードマップ
- ・貯留施設（ため池、貯留施設等）

【年度毎に行うサイクルを想定】

流域治水協議会
や大規模氾濫減
災協議会等を
活用し議論

国・県・市町村
河川管理・防災・教育

Do【実行する】

- 位置付けた取組を各自が実行する

- ① 「流す」取組
堤防・護岸整備
河道掘削・支障木伐採 など
- ② 「留める」取組
雨水貯留浸透施設等の設置
ため池・田んぼダム・グラウンド貯留 など
- ③ 「備える」取組
地区防災マップ作成支援
マイ・タイムラインの作成支援
避難計画策定 など

Act【改善】

- 改善点や取組の拡大等、計画を更新する
- 関係者との議論を重ね、必要に応じて計画の見直し、追加を行う

Check【評価・進捗管理】

- 取組状況の把握・進捗管理

14